**物理情報専修における修士論文発表会審査用要旨テンプレート**

Template file for the abstract of the presentation in Applied Physics and Physico-Informatics

物情研究室　学籍番号：12345678　物情太郎

**Abstract:** The abstract should be in English and about a few lines long.

**Keywords:** Template, Sample, Example

1. 研究背景・目的

このテンプレートは物理情報専修の課題研究発表会の審査用要旨のテンプレートファイルである。要旨はA4版で2ページ、上下左右のマージンを2cmとり、上から題目(日本語と英語)、所属研究室・学籍番号・氏名、アブストラクトを記述する。アブストラクトは英語で数行程度記述すること。それ以降は2段組みで本文とすること。本文を英語で記述する場合はタイトルも英文のみでかまわない。必要事項が記述されていれば、このテンプレートファイルを使う必要はなく、例えばLaTeXを用いてもかまわない。ただし、提出はPDFとすること。内容は、おおむね「研究背景・目的」「方法」「結果」「結論と今後の展望」を記述すること。研究背景では、その研究を実施する意義が分野外の人にもわかるように説明すること。また、最終的にどのような問題を解決するのが目的であるかを明確に述べること。**なお、本テンプレートは「修士論文発表会」での審査用であり、論文の最終版とともに提出する要旨(和英、それぞれA4で1ページ)とは別であることに注意すること。**

1. 方法

方法は、その研究を実施するにあたり、どのような手法を用いたかを記述すること。特に、先行研究に比べて新しい工夫がある場合は、それが明確にわかるように記述すること。

1. 結果

結果は、図表などを用いてわかりやすく説明すること。本文が和文であっても、図のキャプションは英語で記述すること。

1. 結論と今後の展望

「結論と今後の展望」では、この修士課程で何を行ったか、この研究の次は何がなされるべきかを述べること。参考文献は、研究に直接関係する数編を引用すること。なるべく査読論文、書籍などを引用し、やむを得ない場合を除きウェブサイトなどの引用は避けること。

グラフ

自動的に生成された説明

Fig. 1 Figure captions should be written in English.

参考文献

[1] 理科系の作文技術、木下 是雄、中公新書.